

出張報告書

令和 6 年 8 月 8 日

市議会議長 様

会 派 名 にじの会

代表者氏名 高比良正明

下記のとおり報告します。

記

- 1 目 的 小中一貫校の現状と役場の利便性と景観の視察
- 2 出張先 当別町役場・とうべつ学園・ニセコ町役場
- 3 出張期間 令和 6年 7月 1日～令和 6年 7月 2日
- 4 出張者氏名 高比良正明・河合達雄・殿本マリ子
- 5 てん末報告

小中一貫教育の考え方と市民にとっての役場の在り方を
考えさせられました。

当別町立当別学園への視察

当別町で進める小中一貫教育のあり方について、学校視察に行ってみました。令和4年に義務教育学校1校、小学校1校、中学校1校に統合されました。教育理念としては9年間の切れ目のない教育により徹底した基礎力の定着、夢や目標を自らの力で切り拓いていける力、世界で活躍するためのツールとしての英語力、部活動等による強い心と体など、世界に通用する人間となるための確固たる基礎を構築する。またその学びは「連続性の多様な学び」であり、特別な支援を要する子供たちも共に成長できるという理念のもとに当別町小中一貫教育「未来を拓く9年間」としてはじめられました。校舎内は暖かい木のぬくもりを感じ広々とした廊下やオープンスペース、特別教室、体育館など子供たちが癒される空間が数多く作られていました。中学生、小学生が、同一空間に居ることにより、上級生は下級生に優しく、下級生は上級生を見て様々な事を学という縦割りの良さを感じられるとのことです。これにより小学生からスムーズに中学なれ、中一ギャップの未然防止にもつながるとのことです。また教員側でも指導方法の改善意欲が高まったとも話されていました。他市の教育方法を学び様々に教育現場が変化してきていると感じま

した。これから岸和田市の子供達が多く、の教科に興味を持ち、楽しく、そして仲良く学校生活を送れるよう取り組んでいかなければならないと感じました。

ニセコ町役場を視察

私たち、にじの会は 2021 年 3 月 19 日に竣工されたニセコ町役場を視察してまいりました。庁舎と防災センターを一体として整備し、来訪者の利便向上、職場環境の改善、周辺敷地の一体的利用など多様な庁舎機能を備え「まちづくり拠点」創造の拠点の方向性を示しているとのこと。入庁すると白樺の木で作られたやさしい明るいエントランスがでむかえてくれ、町民が窓口すべてを見渡すことができ、町の情報が集まる展示コーナーや子供たちが遊べるスペースなども確保されていました。二階には可動間仕切りを設置した災害対策室があり、地下一階には災害用の資材を収納する物資庫や自家発電機のほか熱と電気をつくる LPG コージェネレーションを導入しています。災害時にはコージェネからの排熱を回収し建物内部に供給するとのこと。また三階には誰もが気軽に利用できる、羊蹄山を眺めながらゆったりするフリースペースがあり、市民や職員にとって癒しの場所となっています。そして日本有数の多雪地域での行政機能を守る RC 造庁舎とのこと。この場合の RC とは柱と梁で枠を作り各接合個所が変形しないように（剛接合）したものを言います。又、外壁に付く窓を全て木製サッシとしてアルゴンガス入り Low-E

トリプルガラスを全面的に採用しているとのこと。又、壁面、屋根面には高性能フェノールフォーム 200mm相当の高い断熱性を確保し、冷暖房負荷削減を徹底しているとのこと。庁舎のあり方も地域によって様々であると認識しました。そして雪庇対策もきっちりと行われており、一階の屋根が大きく跳ねだし、歩行者に影響を与えないように配慮されていました。このニセコ町役場は全館がとても明るく職員が快適に仕事ができ、来訪者にとって全ての課が分かりやすい庁舎だと感じました。岸和田市でもこのような、来訪者、職員が、気持ちよく訪れ、働ける庁舎を考えるべきだと思いました。